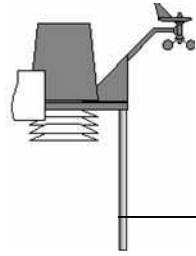


# Davis気象観測ステーションの活用

1. 気象データが欲しい現地に装置を設置して、長期間計測データを記録したい
2. 気象の状況によって、警報の発報や外部装置を制御したい
3. 遠隔から、閾値を超えた計測をいち早く知りたい、必要ならその場で現地の外部装置の制御がしたいなどのニーズにお応えします

ケーブル式  
ISSセンサ 6322C



Max300m  
(標準30m付属)

6316C+6510  
現況表示はありません



USBor232C

HARUTO or KYOTA



長期間のデータ・ロギング  
ftp転送(ftpクライアント)  
データ・ダウンロード(PC直)

USBメモリによるデータ回収

HARUTO・KYOTAに共通

風向・風速、温度・湿度、雨量  
(日射量/UV量はオプション対応)

¥297,000

計測項目に閾値を  
設定して、接点制御



インターネット  
ルーター  
(別途用意)



インターネット

メール通知

ライブ(現況)モニタ



計測項目に閾値を設定して  
メール通知を受ける

データ・ダウンロード



ISS部以外  
バッテリーを含め収納



例: 30W x2

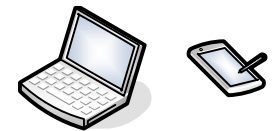
HARUTOIV ¥73,000  
KYOTA ¥120,000

独立電源での運用が可能

KYOTAは、  
HARUTOの機能にプラスして

1. 閾値を設定して接点制御
2. インターネット接続が出来れば
  - ・閾値を設定してメール通知
  - ・データのダウンロード
  - ・ライブ(現況)モニタ

の機能が追加されています



※納期の問題がありますので、あらかじめお問い合わせ下さい

金額は、いずれも税別